

胃カメラ検査 ～口からと鼻からの違い～

経口胃カメラの利点

- ①明るく、画像がきれいなため、細かなところまで観察ができる。
(早期癌など、微細な病変の発見がしやすい)
- ②検査に引き続き、潰瘍出血の止血等処置を行うことができる。

経口胃カメラの欠点

- ①経鼻胃カメラに比べ、咽頭部の刺激が強いため、吐き気や息苦しさ等の不快感がある。

経鼻胃カメラの利点

- ①経口胃カメラに比べ、喉の反射が軽いため、吐き気が少ない。
- ②検査中に会話が可能。

経鼻胃カメラの欠点

- ①鼻の麻酔に時間がかかる。麻酔薬の刺激が強い(ツーンとする)。
- ②経口胃カメラに比べて画像が悪い。
- ③鼻粘膜に傷がつき、鼻血が出る場合がある。
- ④検査に時間がかかる(吸引や空気を入れるのに時間がかかる。)

注意: 鼻腔が狭かったり曲がっていたりする場合、経鼻胃カメラが困難なことがあります。

全国健康保険協会生活習慣病健診の一般健診に含まれる胃検診(バリウム)を胃カメラ(胃内視鏡)に変更すると差額で5,000+消費税がかかります。

事前予約となっておりますので、当日のバリウムから胃カメラへの変更はできません。